

本草圖譜卷之七十七目錄

香木類

柏	一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種
叢栢	一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種
上曰									
シカク	シカク	東福寺のシカク	シカク	シカク	漢種のシカク	江戸のシカク	シカク	シカク	シカク
三	四	五	六	七	八				
側栢	側栢	側栢	側栢	側栢	側栢	側栢	側栢	側栢	側栢
解	解	解	解	解	解	解	解	解	解
シカク	シカク	シカク	シカク	シカク	シカク	シカク	シカク	シカク	シカク
八	七	六	五	四	三	二	一	一	一

靈牀上果

靈前備へたる諸果なり

本草図譜	卷之十一	一	一種	ちやぶひも	一種	ちやぶひも	九
			一種	かかめとひも	一種	あそあろろ	十
			一種	むめあそあろろ	一種	とろび	十一
			一種	ころうひも	一種	まわら	十二
			一種	おまじり	一種	くろび	十三
			花栢 <small>差解</small>	まのふひも	一種	かろうとひも	十四
			一種	むらやうひも	一種	まのふひも	十五
			一種	むらやうやどり	一種	しのび	十六
			一種	ぼろひも	一種	まのふひも	十七



本草圖譜

卷之七十七

二

本草圖譜卷之七十七

香木類

東都	岩崎常正	著
男	岩崎信正	
門人	小山廣孝	校

栢

栢の類多し單ハ栢と稱さる時ハ側栢扇栢花栢等を通して云ふ其品類下不出ル藥方ハ栢葉栢子仁かと云時ハ漢種の側栢を用也ハ一
 其餘ハ集解の説ハハ藥用向レトシトモ 功能向キトモ見也

堅剛

本草和名 引葉花苑

掬上

日通

鞠雅

名物 方言

カハ 鈔和名

カハカハ 西面

カハカハ 上

本草圖譜 卷之七十七



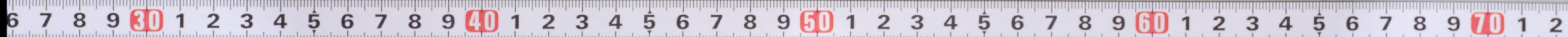
本草図譜

卷之十七



本草図譜

卷之十七



本草図譜

卷之十一

漢土より渡り官園に栽せしむる今喬木となりて高さ二三丈に至る葉ハ
常のこのてりて不似し頗る細ちて薄く扁栢の葉に似て硬く枝粗く
直立するや側栢の名あり新生の葉の本は五瓣淡黄色の小花を開く更に結
ぶ形あつてかべの實に似て大さ指頭の如く円く中の子あり黄褐色なりて
大さ三分許り松子に似たり雷敷の説に其有子円葉成花如大花雲母葉
皆側葉上有微赤毛者宜入薬用とす

叢栢

このてりて

手掌栢 有記

此品世上最も多し万葉集に此手のてりての両面とす物と樹叢生して高さ
一丈許り不過り葉をもち生じて掌を立す如し背面緑色あり故にた
はしてと云此樹側生するや側栢の類と云くべし雷敷の説に叢栢葉
其樹綠色並不入薬と云り叢叢生して喬木の如くぬ名あり



本草図譜

卷之十一



本草図譜 卷之七十七

一種

シカクダ

大樹となす葉ハこの
か一不似て細く枝粗
く木理櫨不似て堅く
少水と焼ハ香気白檀
不似り



本草図譜

卷之七十七

三

一種

漢種のシカクダ

香栢 遵生
八段



漢種と称すも詳あり
樹葉とも扁栢不似て面背
とも緑色花実ハ側栢の
如し



本草図譜 卷之二十一 四

一種

葉の形側柏に似て粗く枝長く上へ向う甚だ扁なり

江戸にて多かるたんと称する物



一種

東福寺のひびくかん

京都東福寺のあり漢種の物と傳云う枝葉と小扁柏に似て甚粗く細く長く幹はふくれ在り了炭を生じ木理白檀に似て微し香氣あり真の白檀の類にあらず物なり

香栢 漢武故事

左紐栢 事物紺珠



本草図譜 卷之二十一



本草図譜

卷之七十七



俗に檜の字を用サ檜ハ松ノ之のこハ扁
栢之木をあらわすなり合さず時ハ火出さず之の
もと云諸外皆あつとも信加木曾及び上野の
物を上品と見此内木曾の麝香山と称れ總之
此の木の葉の形花栢に似て厚く刺栢より肥チク
面背とも不綠色之實ハ杉の實に似て至こ小
豆の如し樹皮赤黒なり堅く割れ此皮
小こ屋上をふくこれを用わすといふ

扁栢

本草
彙言



一種

本草図譜

卷之七十七

五

此のま



本草図譜 卷之十一

一種

つめびのき

葉の形のみ
つめびのき
似る細き
実も形同し



本草図譜 卷之十一

一種

つめびのき

葉の形扁柏に似
密ふちぢぢまき
粗く面は緑色なり
背は微し白し



本草図譜 卷之二十一



一種

ノミヤクシ

葉の形扁柄不似て厚く
短く枝粗く細き枝少く
放生は水ハ長く一形孔
雀の尾不似やうま生を物
あり

本草図譜 卷之二十一



種
ひむ

雁翅栢 華夷花
木考

捲木
物理
小調

マヤクシ
英

葉の形ノミヤクシに似たり密に枝下ニ垂れり材白く薄黄を帯ひ綱強く
器物に造るに用ゆ物理小識に固有水杉葉似栢其材刺之可巻作
籠盤等器名曰捲木甚輕と云是之



本草図譜
卷之二十一

一種

ちやろひを

葉の形ちやろ
ひをより厚く
至て密なり



一種

ちやろひを
ちやろ

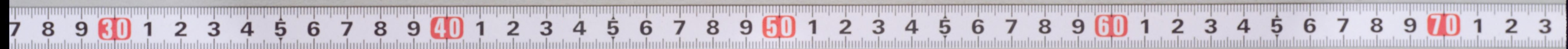
葉の形扁楕不似て厚く
深緑色なり甚く密く
数十年の経つもの香高不
小至る是亦發生を知ら

蘇

栢

事言

本草図譜
卷之二十一
八



本草図譜

卷之七十七

諸及皆あり野
及日光山赤沼
原湯元の邊
最多一葉生
て大い柄中の丈
葉ふるまのふ痛
くして紋脈鱗
甲の如く面を覆

羅漢栢 江陰縣志
仙人栢 珍玩考

一種

あはちろろろ

あはちろろろ

あはちろろろ



緑色背は白緑色年久引て
喬木に至り江陰縣志に栢
一種葉大而扁曰羅漢栢
其木理堅と云り

本草図譜

卷之七十七

九

一種

あはちろろろ

葉の形ちや不
ひまふ似て厚
く粗く枝葉有
あはちろろろ
せり



本草圖譜

卷之七

あまが ちんくともふ
村の名く山地あり
てあまがひとつる葉
の形羅漢柏に似て
狭く枝繁く生れ村
ハ扁柏に似て白く
木理粗

一種

あまが ちんく
あまが ちんく
あまが ちんく
あまが ちんく



一種

あまが ちんく

葉の形前
條の物より
細く四く
扁柏に似る
粗



一種

ころろびむ

円葉のあま
あろろびむ云
葉ハ大さじふ
やうやうふ似
て短くはすう
形ちやふびもふ
似たり



一種

さわふ

あてび

千頭栢

微本
要草

葉の形扁楕
似て粗く面緑
色背白一枝
まゝ粗く樹皮
ハシのきの如
材ハ杉に似て
薄紅を帯ふ
諸畧切に造る



本草図譜 卷之七

葉の形扁柏に似て太く色深緑
色やうに黒く可う樹皮の扁柏より厚
一爪理の杉に似て黒くありし
又雲頭の如き標ある可う黒くあり
を上品とす



一種

ころび
ころべまき



本草図譜

卷之七

十二



一種

ちさね

葉の形前条のさわら
に似て薄く細く背ハ
白色の材ハ白く少し
薄黄色の処ハ質
柔やうに材用おえよ
久しきと堪れ

本草図譜 卷之七



一種

ヤチノキ

柳栢通

常陸筑波山に自生あり幹ハ剛く直立し葉ハ形ハ杉に似て長短雜リ又花栢の如き葉も雜る葉の先端下へたれ枝は下舞せり

本草図譜 卷之七

花栢 解集 云のふひも

樹直立して高木にして葉の形扁栢に似て甚細密なりて小短尾草に似たり

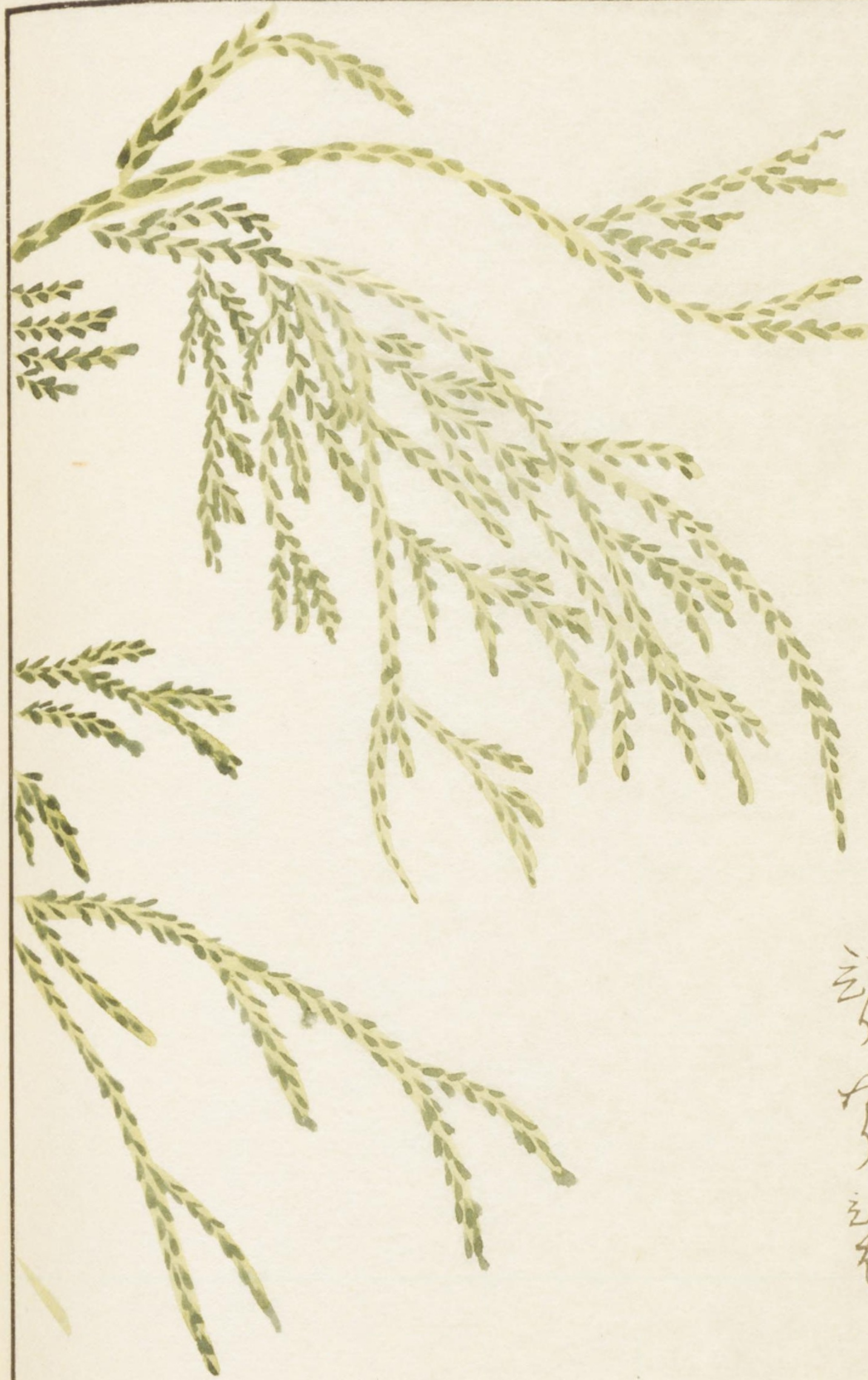


雷敷の説ハ花栢葉其樹濃葉成朵無子と云



本草図譜 卷之三

葉の形似く
刃も小似て大く
粗く黄緑色の
枝條柔弱なり
て下葉有り



シロヤシ

本草図譜 卷之三



本草図譜
卷之二十一



岳栢 物理小識
 瓔珞栢 通雅於南園史
 柳栢 中山實同

葉の形多ふん似し
 肥大して粗羅漢栢
 似て濁りなれ枝葉下
 らと四五尺不及小
 鏡小枝葉俱岳下
 際無花有子と云



一種

名これ
 切木尾
 名ん可毛

本草図譜
卷之二十一
十一



本草図譜 卷之七



一種

いとまき

常五葉波山不自生あり
葉の形白く似たり硬
く鱗甲あり柏葉の如き花
絶るなく梢の嫩苗
皆下岳にて糸を乳
を如く形ややく
むも似たりいとま
きりふく形類ハ
あつた実の形全く
栢類ホリ

本草図譜

卷之七

十一

一種

むらさきやどり

枝葉の形ワト
色き小似て短く
粉緑色に此
の元初めやどり
もの枝小変生り
因て名つくりや
むらさきの多
や



本草図譜

卷之七十七

一種

ねむろ

もろこし 曾草部
刺楸録

た 木常高天丁原



杜松 泉及
府志

へホウ 蝦夷

あけのこ 松前
人此
実を好む

常外上総房及真及等にあり又甲及山中に多くあり木の高き一丈許り
持之十枝葉繁茂以葉の形がくろん似て硬く長し枝は数生せり
直上凡秋月同く実を結ぶ大ま黒大豆の如し熟すれば紫黒色とあり
香気あり泉及府志に杜松其葉如杉而尖如刺水如松而文細其色赤亦有為杜者
云漳及府志に通志曰葉似杉而尖如刺水似松有文と云是之

本草図譜

卷之七十七



本草図譜

卷之七十七



一種
 尾山山中多自生向
 葉圓楸餘ハ海邊巖
 の間及砂地カ有と云
 高漸く一二尺枝條延
 地上不臥葉ハ前条の
 つぎハ同く實も又同

曾阜補葉
 圓楸餘
 上

本草図譜

卷之七十七



本草図譜
卷之七
ト



一種 乃ろまき江
そのれまら前 ぬめむろ
まられまき江 乃ろまら
乃ろまら江 ぬめむろ
ぬめむろ江 乃ろまら
ぬめむろ江 乃ろまら

杜松の類ヤ了枝葉杜松の比を水ハ
柔軟ナ一て下垂ル実ハ形栢の実不
似て小サ一テリアカ方中用セ
所のケ子一フル即チ是ハ甘ハ杜松子
を薬用を水とも西洋木艸の圖を
見て其然ハコトを知ハ

緑杉通 ニニペリユヌ
ケ子一ラルボ一
ウアクトホルテルボ一
荷爾
口上

本草図譜卷之七十八目錄

香水類

檜 解集	二 種	まのしげうらん	三
縦 解集	四 種	えんとうもろ	五
一種	一種	うかりらもろ	六
一種	一種	あらくもろ	七
一種	一種	おんたもろ	九
一種	十 一種	つば	十



杜松も葉生はる
物かて枝葉
目下杜松不同
葉細生て丸
り如し

一種
よれぬた
尻
くすり

本草図譜
卷之七十八

